

守り・伝える・文化財 18

市史跡 棕梨城跡

指定 昭和48年 大和町棕梨



▲棕梨城跡の航空写真

国道432号和木交差点を西に国道486号を約2.5km、棕梨川の流を左右に見ながら上流に進むと両岸の山裾は遠のき、左側に現れる小高い丘が市史跡棕梨城跡です。

この城跡は南の山から突出した尾根を切り取る形で、周囲より約20m高い平坦面をもち、その規模は約60m×25mあり、一部に土塁の跡も認められます。また、現地形から周囲に幅20〜30mの空堀を廻らした土居形式であったことが想像されます。棕梨川は、棕梨に入ると標高300m前後の盆地を北西から南東に田畑を潤して緩やかに流れ、この城跡は盆地の出入り口を抑える要所に位置しています。

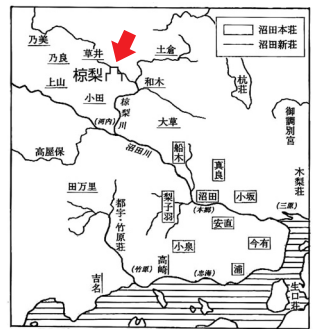
城主は小早川棕梨氏でした。豊田郡誌に「抄 堀城といふ 棕梨氏の

の頃から慶長5年(1600年)関ヶ原の戦いの後、13代景良が毛利氏に従って防長へ移るまで約350年間の拠点であったようです。

問い合わせ先
生涯学習課
(☎0848④2137)

実は寛元(1240年代)の頃から慶長5年(1600年)関ヶ原の戦いの後、13代景良が毛利氏に従って防長へ移るまで約350年間の拠点であったようです。

季平の子国平初めて此地を領し棕梨氏を称す 子孫相承け景良に至る」とあるように、小早川氏の祖、土肥実平四代の孫季平が沼田荘のうち棕梨川流域を中心とした沼田新荘といわれた地を父から譲られ、その子国平から土着し、地名から棕梨氏を名乗りました。本領安堵といひ、鎌倉幕府から所領支配を保証された地頭職ですが、勢力圏内に留め置こうとする本家である惣領家の度々の干渉を受け、次第に家臣団に組み込まれた後は重臣筆頭の地位を占め、毛利元就の三男小早川隆景の沼田小早川家相続にも大きく貢献しました。その後、永禄4年(1561年)3月26日に隆景の待つ新高山城に向かう元就・隆元父子が棕梨弘平の館に一泊したことが記録に見え、毛利、小早川の信頼が厚かったことがうかがわれます。



▲沼田荘主要地図(三原市史から)

居 梨 小 氏 一 門 に し て 小 早 川 景 平 二 男 新 庄 次 郎

自衛官採用試験

採用区分 ①防衛大学校学生 (一般)②防衛歯科大学校学生③看護学生

受付期間 8月(月)〜30日(火)

受験資格 来年4月1日現在 ①②高卒以上21歳未満③高卒以上24歳未満

試験日 ①11月15日(土)・16日(日)②11月1日(土)・2日(日)③10月25日(土)

問い合わせ先 自衛隊尾道出張所 ☎0848②6942

市民憲章

わたしたちは、海・山・空 夢ひらくまち三原をめざして、この憲章を定めます。

- 一 豊かな自然をいかし、美しいまちにしましょう。
- 一 歴史と文化を大切にし、人をほぐくむまちにしましょう。
- 一 みんなで助け合い、人がふれあうまちにしましょう。
- 一 心もからだも健康で、明るいまちにしましょう。
- 一 楽しく働き、活力あるまちにしましょう。

税の納期(普通徴収)

◎国民健康保険税(第3期)
◎介護保険料普通徴収(第3期)
◎後期高齢者医療保険料(第3期)

納期限 9月30日(火)

※税金・保険料は納期限までに納めましょう。

今月の夜間収納窓口(19時まで)
11日(木)・25日(木)

あ・と・が・き
厳しい残暑、日中は外を歩くのもつらい毎日です。たまには運動しようと思つて、日が沈んでから散歩に出かけたところ、空に浮かぶ満月と芸術文化センターポポロの丸い屋根が目にとまりました。夜風が涼しく、なんだかほんやり眺めていると、のんびりとした気分になりました。今月14日は中秋の名月。宇根山天文台では、観望会が予定されています。日常を忘れて、大自然のなかで星空を眺めてみてはいかがですか？

(あ)
来月14日に開館1周年を迎えるポポロやそのほかの施設でも、さまざまなイベントが開催されます。皆さんはどんなイベントで秋を楽しみますか？



● 三原市の人口 ●	
(7月31日現在)	
世帯数	43,996世帯 (+299)
人口	104,442人 (-474)
男	50,177人 (-215)
女	54,265人 (-259)
()内は前年同月との比較	

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。

編集・発行／三原市秘書広報課 (〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号 ☎0848⑦6007) 毎月1日発行
「広報みはら」は市役所1階ロビーと各支所、サン・シープラザとうきしろロビーの窓口にも備えています。点字版や録音テープの「広報みはら」も発行しています。
問い合わせは秘書広報課へ。